おお だいら ほん じょう あと

大平本城跡

発掘調查成果報告会資料



日時 平成23年12月3日(土) 午前11時~

主催 (公益) 愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター

http://www.maibun.com./top/

支援 株式会社 波多野組

大平本城跡の調査区



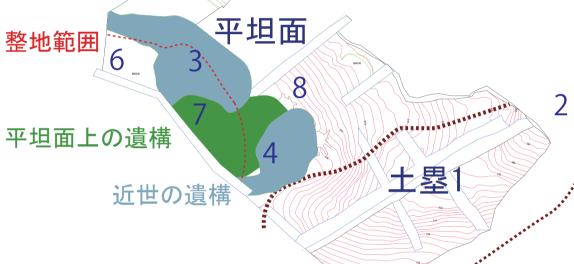
▲ 土塁 2 全景



▲ 土塁2すり鉢出土状況



▲ 土塁1の検出状況



写真の番号は略測図と一致する。



▲ 土塁 2 から平坦面を見る



▲ 天目茶碗の出土状況 てんもくちゃわん



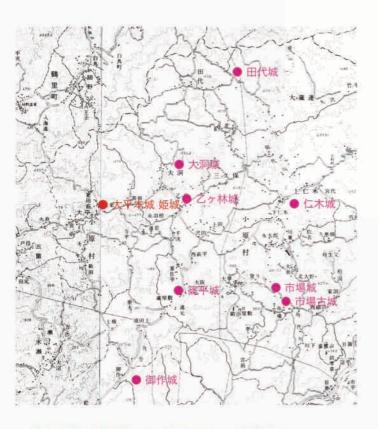
▲ 鉄釉四耳壷の出土状況 てつゆうしじて



▲ 平坦面から土塁1を見る



▲ 灰釉四耳壷の出土状況



大平本城跡と周辺の城跡



A区航空写真

(オレンジ色のフェンス内が今回の調査範囲)

大平本城跡は豊田市大平町にあり、 現在の集落を南西に見下ろすような 尾根上に位置します。尾根端部の手 前に堀切を設定して丘陵の一部を残 した構造で、現存しませんが北東側 の尾根続きにも堀切があった様です。 北側の谷の対岸には大平姫城跡が存 在しますが、両者の位置関係から、 これらは一体であった事と考えられ ています。

この城跡は、『小原村誌』によれば、 文正元(1466)年に松平信光の攻撃 により落城したとされます。しかし、 城跡の遺構には戦国時代の特色も観 察でき、この時代にも使用されてい る様です。

今回の調査は城跡の南西部にあたり、 二条の土塁とこれに挟まれた平坦面 を確認しました。平坦面は斜面を切 り込み、北西部分を整地により拡張 したもので、中央部に壁土と思われ る焼土塊や炭化物を多量に含む浅い 土坑が確認できました。

出土遺物はほとんどが 16 世紀に属するもので、遺構の観察結果と良く一致しています。なお、松平信光の時代の遺物もわずかに出土しておりますので、城跡が 15 世紀にも存在していた可能性も残されています。